

# いにしへだより

No.10

## こうせんじ もくぞう あみだ にょらいりゅうぞう 廣泉寺の木造阿弥陀如来立像

### つたりしほんのうにゅうひん 附紙本納入品

鹿児島県指定文化財（令和2年4月28日指定）

種別：有形文化財（彫刻） 像高：96.8㎝

南さつま市坊津町の美港、久志浦の今村に位置する廣泉寺（住職：大八木宗司氏）には、本尊の木造阿弥陀如来立像が安置されています。

この仏像は、その造形から、安阿弥様を踏襲した鎌倉時代後期頃、13世紀後半～14世紀前半頃の作品と考えられています。

寺伝によれば、この仏像は、もともと穎娃郷の瑞應院の仏像で、明治の廃仏毀釈の際に久志にもたらされ、廃仏の難を逃れるため、地中の石棺に収められていたところ、のちに地中から掘り出されたものと言われています。

太平洋戦争中の久志空襲の際も、戦火を逃れたこの仏像は、久志の人々と苦楽を共にしながら、現在まで大切に保存されてきました。

近年、門徒の方々の懇志や住友財団の助成、市補助金を活用した保存修復がなされ、この保存修復の際、仏像の体内から、文字が記された紙本納入品（左下写真参照）が発見されました。

令和2年4月28日付けで「廣泉寺の木造阿弥陀如来立像附紙本納入品」として、鹿児島県指定文化財に指定されました。

#### 【主要参考文献】

- ◆坊津町郷土誌編纂委員会 1972『坊津町郷土誌』上巻 坊津町
- ◆（公財）美術院 2017『廣泉寺蔵 木像阿弥陀如来立像の像内納入品について』／「市指定文化財修理解説書」（廣泉寺仏像）
- ◆有木芳隆 2020『廣泉寺の木造阿弥陀如来立像附紙本納入品』『鹿児島県文化財調査報告書』第66集 鹿児島県教育委員会
- ◆総務部学事法制課 2020『鹿児島県広報』第101号 鹿児島県  
（文／生涯学習課 橋口 亘）

廣泉寺の木造阿弥陀如来立像



仏像の中から発見された紙本納入品 撮影・提供：美術院  
修復の際に、仏像の体内から取り出される納入品の様子